

保存版

逃げ地図

(推奨案)

沼津市

内浦地区

重寺地区

センシブル淡島

小海地区

三津地区

重須地区

長浜地区

松涛館

津波避難タワー・重須

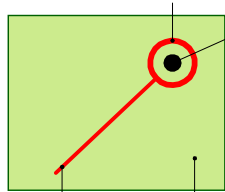
【陸域での津波の浸水深が30cmとなる時間 ※】

- 10分 (内浦地区の陸地に最も早く津波が到達する時間)
- 11分
- 15分
- 20分
- 最大浸水ライン

※ 静岡県第4次地震被害想定を基に、沼津市津波ハザードマップに記載されている津波到達時間よりも精度を上げて作成した。

【凡例】

避難先 津波避難施設等



避難方向

避難先の種類

緑色: 浸水区域外に避難

オレンジ色: 津波避難施設等に避難

【津波避難施設等】

- 津波避難施設等 (津波避難ビル、津波避難タワー等)
- 津波避難路

◆津波避難の『心得』

①できるだけ「早く逃げる」

- 避難開始時間は、地震発生後3分を目指す。
- 避難速度は、1m／秒を基本とする。
（津波の進入が極めて早い戸田地区に限り、1.5m/秒とする。）

②“適切な”避難方向・津波避難施設等に「上手に避難する」

- あらかじめ、避難する方向・場所を決め、逃げ方を把握しておく。

③予定した避難行動ができるように「手間取らない。時間をロスしないために準備する」

- 外に出る：家具の固定、装備品の用意、家屋の耐震化など
- たどり着く：ブロック塀除去、草刈りなど

◆『逃げ地図（推奨）』の使い方

①ご自宅の「避難先の種類」は何ですか。

- ①津波浸水区域外
- ②身近な津波避難施設等

②避難先までの「経路」を確認しましょう。

③あなたの設定した「避難経路」を、実際に歩いてみましょう。
⇒所要時間____分

* 津波の浸水時間を確認しながら歩いてみましょう。

◆『逃げ地図（推奨）』の作成方法

①「地元意向」を基に、シミュレーション

- 避難行動ワークショップ（H27～H29）における意向を基に検討しました。
- 技術基準（右表参照）に照らし、技術的検証を行いました。
- 住民説明会（H30年度）において、確認と合意形成を行いました。

②要支援者を含む「より多くの人の逃げやすさ」に対応

- 自治会単位で避難方向を検討しています。
- 要支援者の為に近くの津波避難ビル等を空けるため、「健常者は可能な範囲でなるべく遠くに避難」することを想定しました。

③避難先を決めきらない「推奨案」として提示

- 逃げ地図（推奨）は、津波避難計画を図化し、「こちら側に逃げる」ほうが危険が少ない、「こうやって逃げる」を実行すれば助かりやすいを、分かりやすく伝えるものとして作成しました。
- 津波避難計画（逃げ地図（推奨））を基に、避難訓練等で確認し、個人・自治会で「自分達の避難計画」を作成してください。

◇『逃げ地図（推奨）』の作成基準◇

	共通の基準（戸田を除く）	戸田地区の基準
①避難開始時間	○地震発生後5分	○地震発生後3分
②避難速度	○1m／秒	○1.5m／秒
③津波避難施設	○階数	○避難階は基準水位以上の階（同左）
	○構造	○RC/SRS（S56以降の新耐震基準に準拠、同等の耐震補強済み） （備考：津波避難タワーはS造）（同左）
	○容量	○原則1人／㎡（同左）
④避難方向	○原則として津波から遠ざかる方向、最寄りの浸水区域外もしくは津波避難施設等に向かう方向（健常者は、可能な範囲でなるべく遠くに避難）	（同左）
⑤避難距離	○原則500m以下（津波の進入方向及び横方向には200m以下）	（同左）
備考	※避難開始時間は目標値として「地震発生後3分を目指す」としているが、「津波避難計画（逃げ地図（推奨））の作成」に際しては、地震の揺れが収まる時間を考慮し5分とする。 ※戸田地区については「海岸への津波到達時間が、最短で4分で、避難可能時間が極めて限定される」ことから、上記の基準での対応が必要。	

■ 津波避難訓練対象区域の自治会

連合自治会	「津波避難訓練対象区域」の自治会
内浦地区	重寺、小海、三津、長浜、重須

■ 津波避難ビル等一覧

施設名称	建物階数	外階段	避難利用箇所	収容面積
センシブル淡島	10	有	5階以上の階段	10㎡
松涛館	6	有	屋上ほか	1,311㎡
沼津市立内浦小学校	3	無	3階床面	853㎡
津波避難タワー・重須	－	－	－	40㎡

平成31年3月末現在

■ 津波避難路一覧

避難路名称	上部標高	収容人数
内1	32m	80名程度
内2（内2+津波浸水区域外の道路）	20m	200名程度
内3	26m	5名程度
内4	34m	相当数避難可能
内5	27m	50名程度
内6	14m	60名程度
内7	25m	20名程度
内8	31m	相当数避難可能
内9	27m	相当数避難可能
内10	28m	100名程度
内11	16m	10名程度
内12	32m	相当数避難可能
内13（内13+津波浸水区域外の道路）	30m	140名程度
内14	30m	20名程度
内15	15m	30名程度
内16	20m	30名程度
内17	11m	5名程度
内18	20m	70名程度
内19	28m	相当数避難可能
内20	31m	相当数避難可能
内21（内21+神社敷地内）	24m	240名程度
内22	36m	相当数避難可能
内23	28m	相当数避難可能
内24	21m	60名程度

避難路名称	上部標高	収容人数
内25	38m	相当数避難可能
内26	28m	相当数避難可能
内27	20m	相当数避難可能
内28	17m	5名程度
内29	15m	50名程度
内30	26m	70名程度
内31	29m	50名程度
内32	16m	2名程度
内33	26m	相当数避難可能
内34	29m	相当数避難可能
内35	26m	70名程度
内36	33m	相当数避難可能
内37	28m	相当数避難可能
内38（内38+津波浸水区域外の道路）	29m	250名程度
内39	30m	相当数避難可能
内40	32m	相当数避難可能
内41	26m	10名程度＋α
内42	50m	相当数避難可能

平成31年3月末現在

※ 避難するための共有スペースが少ないビルや無人となるため避難できる時間帯が限られるビルがあります。
また、外階段が「有」となっているビルでも扉がついている場合もありますので、訓練のときに確認しましょう。

保存版

沼津市危機管理課 055-934-4803

平成31年3月末発行